

教科・科目	学年・小学科	単位数
保健体育・保健	1年	1
教科書	大修館書店・現代高等保健体育	
副教材	大修館書店・現代高等保健体育ノート	

1. 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2. 学習方法

- 授業：現代社会と健康について、さまざまな側面から考察する。
また、周りの生徒と話し合う機会を与えたり、作業学習を設けたりする。
- 予習：事前に教科書を読むように指示することがある。
- 復習：授業内容の定着を図るため、副教材を利用したり、小テストを実施したりする。
- 課題：単元終了時や長期休業など、適宜復習用の課題やレポートを課す。

3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	現代社会と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。
②	思考・判断	現代社会と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断している。
③	知識・理解	現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
④		
⑤		

科目名	学年・小学科	単位数
保健	1年・全学科	1

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法	
			①	②	③	④	⑤			
前期末	1 単元	私たちの健康のすがた	1. わが国における健康水準の向上 2. わが国における健康問題の変化		○	○			<p>○健康の考え方 ・健康に関する意志決定や行動選択、健康に関する環境づくりについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・健康に関する意志決定や行動選択、健康に関する環境づくりについて、学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較、分類、分析などしている。 ・健康の考え方について、理解したことを発言したり、記述したりしている。</p> <p>○健康の保持増進と疾病の予防 ・生活習慣病と日常生活行動について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防について、学習したことを、個人および社会生活や事例と比較、分析、評価などしている。また、筋道を立てて説明している。 ・健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること、喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因となること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、喫煙と飲酒、薬物乱用の対策には、個人や社会環境への対策が必要であること、感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、感染症の予防には、個人的および社会的な対策を行う必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。</p>	授業態度 発問評価 グループワーク 提出課題 小テスト 定期考査
		健康のとらえ方	1. 健康についての多様な考え方 2. 健康の成り立ちとその要因		○	○				
		健康と意志決定・行動選択	1. 意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因 2. 健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫	○	○					
		健康に関する環境づくり	1. 健康づくりを支える環境 2. ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくり	○	○					
		生活習慣病とその予防	1. 生活習慣病とは 2. 生活習慣病の予防		○	○				
		食事と健康	1. 健康的な食生活の重要性と意義 2. 健康的な食習慣の形成	○		○				
		運動と健康	1. 健康からみた運動の意義 2. 健康づくりのための運動習慣の形成	○		○				
		休養・睡眠と健康	1. 健康からみた休養・睡眠の意義 2. 健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方	○		○				
		喫煙と健康	1. 喫煙の健康影響 2. 喫煙開始の要因と依存性 3. 喫煙への対策			○	○			
		飲酒と健康	1. 飲酒の健康影響 2. 飲酒開始の要因と社会問題 3. 飲酒への対策			○	○			
		薬物乱用と健康	1. 薬物乱用の健康影響 2. 薬物乱用開始の要因と社会問題 3. 薬物乱用の防止と対策			○	○			
後期末	現代社会と健康	現代の感染症	1. 感染症とは 2. 新たに注目されている感染症 3. 再び問題となっている感染症	○		○				
		感染症の予防	1. 感染症予防の原則 2. 現代の感染症対策	○	○					
		性感染症・エイズとその予防	1. 性感染症・エイズ 2. 性感染症・エイズの予防	○		○				
		欲求と適応規制	1. 欲求と脳の動き 2. さまざまな欲求 3. 欲求不満と適応機制			○	○			
		心身の相関とストレス	1. 心身の相関のしくみとストレス 2. ストレスの影響と心への影響	○		○				
		ストレスへの対処	1. 原因への対処 2. とらえ方を変えることによる対処 3. 気分転換やリラクゼーションなどによる対処 4. 信頼できる人や専門家への相談	○	○					
		心の健康と自己実現	1. 自己実現と心の健康との関係 2. 自己実現の道すじと達成	○	○					
		交通事故の現状と要因	1. 交通事故の現状 2. 交通事故の要因				○			
		交通社会における運転者の資質と責任	1. 安全な運転のための資質 2. 交通事故の責任と補償			○	○			
		安全な交通社会づくり	1. 法的な整備と施設・設備の充実 2. 車の安全性の向上	○		○				
		応急手当の意義とその基本	1. 応急手当の意義 2. 応急手当の手順				○			
心肺蘇生法	1. 心肺蘇生法の意義と原理 2. 心肺蘇生法の手順				○					
日常的な応急手当	1. けがの応急手当 2. 熱中症の応急手当				○					